

8-2 カムイユカラ

「トピパカムイ ヤイエユカラ (へウルル)」

沼貝の神が自ら物語る

語り：平賀さだも

サケへ V=へウルル へウルル
heururu heururu

V タン ポロ ト この大きい沼
V tan poro to

V ト ラキルル 沼の縁
V to rakirur

V ト ピシカニ 沼のまわり
V to piskani

V チョヤイレス 一人で育つ
V c=oyayresu

オカアサワ たが
oka=as awa

V シネ アン パ タ ある年、
V sine an pa ta

ネプ ウェン カムイ どんな悪い神
nep wen kamuy

コリレンカ のせいかわからない
kor irenka

ネ アクス ne akusu	けれど
V スクサナイネ V suku ^s an ayne	日照りが続き
エアシラナ easirana	それこそ
パ エピッタ pa epitta	一年中
サク パ エピッタ sak pa epitta	夏の年中
V スクサナイネ V suku ^s an ayne	日が照り続けて
チコロ ポロ ト ci=kor poro to	私たちの大きな沼が
サツ ワ イサム。 sat wa isam.	干上がってしまった。
V キ プ ネ クス V ki p ne kusu	だから、
ワッカクルスヤシ wakka-ku-rusuy=as	水が飲みたいと
V チサシ カネ V cis=as kane	泣いて
オカアサワ oka=as awa	いると

シネアントタ sineantota	ある日、
へパシ ワ hepasi wa	川下の方から
ハワシハワシ。 hawashawas.	声がした。
V インカラサワ V inkar=as awa	見たところ
V シネ メノコ V sine menoko	一人の女が
サラニプ セ カネ saranip se kane	袋を背負って
アラキ ヒネ arki hine	来て、
ウンヌカラ ワ un=nukar wa	私たちを見て
ウンコパシロタ。 un=kopasrota.	ののしった。
V 「タン ト ウエン ピパ V “tan to wen pipa	「この沼の悪い沼貝、
シルン ウエン ピパ sirun wen pipa	根性が悪い沼貝
ウタロロケヘ utarorkehe	たち、

オロヤチキ oroyaciki	なるほど
ワッカ ク ルスイ クス wakka ku rusuy kusu	水が飲みたいと
チシ コロ オカ ハウエ cis kor oka hawe	泣いている声が
イラムシツネレ iramshitnere	騒がしくて
V アコソモモコン ノ ハウエオカ ハウエ V a=kosomomokor_ no haweoka hawe	私たちは眠れずに騒いで
ネ ロコカ。」 ne rokoka.”	いたのだ。」
V シコロ ハウエアシ コロ V sekor hawean kor	と、言いながら
ウンコパシロタ パテク ネ ヤッカ un=kopasrota patek ne yakka	私たちをののしるだけでも、
チルシカ トイ ネ ci=ruska toy ne	腹立たしいのに
ウンシリコオテレケ un=sirkooterke	ひどく踏みつけ
チウエンセイエヘ ci=wenseyehe	私たちの貝殻ごと
ウンコヤクヤク un=koyakyaku	私たちを潰し

V	ウレエトウプシケ	つま先を
V	ureetupsike	
	ウノマレ ワ ウヌレエトウルセレ	私たちの体に入れて蹴飛ばし
	un=omare wa un=ureetursere	
V	トオプ ヘマカシ	ずっと山の方に
V	toop hemakasi	
	ウネ ルウエ ネ……	
	une ruwe ne…	
	ウヌレエトウルセレ	私たちは蹴飛ばされ
	un=ureetursere	
V	チサシ カネ	泣いて
V	cis=as kane	
	オカアサワ	いたところ
	oka=as awa	
V	カンナ ルイノ	ふたたび
V	kanna ruyno	
V	ヘペラ ワ	川上の方から
V	hepera wa	
	ハワシハワシ。	ギャギャと声がした。
	hawashawas.	
V	インカラサワ	見たところ、
V	inkar=as awa	
	シネ メノコ	一人の女が
	sine menoko	

V サラニプ セ カネ V saranip se kane	袋を背負って、
ピリカ サラニプ pirka saranip	きれいな袋を
シセトウルカ siseturka-	自分の背中に
エテレケレ eterkere	のせて
V サプ ワ アラキ V sap wa arki	下りて来る。
エアシラナ easirana	それはそれは
カムイ メノコ kamuy menoko	神の女の
ネ コトムノ ne kotomno	ように
アヌカン ルウエ a=nukar_ ruwe	見え、
カムイ ネ クス kamuy ne kusu	神だからこそ
コロ シレトク kor siretok	その器量は
イメル タク ネ imeru tak ne	光のかたまりと

ヤイカラ カネ yaykar kane	なって
V ウンヌカラ ワ V un=nukar wa	私たちを見て
オトゥ ヘンクロロ otu henkuror	二度も
オレ ヘンクロロ ore henkuror	三度も
ウンコアリ un=koari	私たちにうなずきかけて
エネ イタキ。 ene itak h_i.	こう言った。
V 「イヌヌケアシキ V “inunukeaski	「かわいそうに、
ト ピパ カムイ to pipa kamuy	沼貝の神
ウタロロケヘ utarorkehe	たちは、
ト サク クス to sak kusu	沼が乾いたので
ワッカ ケ…… wakka ke…	
ワッカ エチク ルスイ クス wakka eci=ku rusuy kusu	水が飲みたくて

エチシ ハウエへ…… e=cis hawehe...	あなたは泣いて
エチチシ ロク ハウエ eci=cis rok hawe	あなたたちは泣いていたの
ネ ロコカ。 ne rokoka.	だな。
V キ ワ ネ ヤクネ V ki wa ne yakne	それならば、
タパン テワノ tapan tewano	今から
アエチウイナ ヤクネ a=eci=uyna yakne	あなたたちを拾って
V アエチワッカクレ ピリカ ワッカ V a=eci=wakkakure pirka wakka	あなたたちに水を飲ませおいしい水を
アエチクレ クス ネ ナ。」 a=eci=kure kusu ne na.”	飲ませてあげるよ。」
セコロ イタク コロ sekor itak kor	と、言いながら
ウヌオム…… ウヌモマラパレ unuom... un=umomarpare	私たちを拾い集め
V ピリカ サラニプ V pirka saranip	きれいな袋
サラニプ シクノ saranip sikno	いっぱい

ウヌモマレ。 un=umomare.	拾い集めた。
V ウンセ ヒネ V un=se hine	私たちを背負って
イネフナクン inehunak un	どこかへ
アラパ アイネ arpa ayne	行くと、
イネフナク タ inehunak ta	どこかに
アラパ ルウエ arpa ruwe	行くと
エネ オカ ヒ。 ene oka hi.	こうであった。
V ピリカ ポン ナイ V pirka pon nay	きれいな小さい沢
サンルコンナ sanrukonna	清い流れが
コマクナタラ komaknatara	広々と見える
V キ ロク アワ V ki rok awa	そうしていて
ナイ ウン ナイ ウン nay un nay un	沢に

ウノハレ コロ
un=ohare kor

私たちを空けると

エネ イタキ。
ene itak h_i.

こう言った。

「トピカ…… ト ピパ カムイ
“topika... to pipa kamuy

「沼貝の神

エチネ ロク ヤッカ
eci=ne rok yakka

ではありますが

V タン ピリカ ワッカ
V tan pirka wakka

このきれいな水

タン ピリカ ポン ナイ
tan pirka pon nay

このきれいな小さい沢の

オロタ エチオカ
orota eci=oka

ところにあなたたちがいる

キ ワ ネ ヤク
ki wa ne yak

のなら

ナイ ピパ セコロ
nay pipa sekor

沢の貝と

アエチレコ コロ
a=eci=reko kor

あなたたちは呼ばれて

エチカムイセイエヘ
eci=kamuyseyehe

あなたたちの神なる貝殻は

イロンネ ナンコロ
ironne nankor

厚くなるだろう

エチカムイイペヘ カ
eci=kamuy-ipehe ka

あなたたちの神なる身もまた

ケラアン ヤクン
keraan yakun

おいしくなったら

アイヌ ネ チキ
aynu ne ciki

人間も

カムイ ネ チキ
kamuy ne ciki

神も

エチカムイイペヘ
eci=kamuyipehe

あなたたちの神なる身を

エ カ エアシカイ
e ka easkay

食べることができて

アエチピリカトムテ ナ。
a=eci=pirka-tomte na.

あなたたちは大事にされるぞ。

アエヤイカムイ……
a=eyaykamuy...

私は立派な神と……

エチエヤイカムイ
eci=eyaykamuy-

あなたたちは立派な神と

ネレ カネ
nere kane

なって

エチオカ ナンコンナ。」
eci=oka nankor_ na.”

暮らすであろう。」

セコロ イタク コロ
sekor itak kor

と、言いながら

V ナイ オロ ウノタ V nay or un=ota	わたしたちを沢へ空け
キ ルウエ ネ アワ ki ruwe ne awa	たところ、
チェサンペケセ c=esanpekese	私たちの肝の末
チェサンペ ケ…… パケ c=esanpe ke... pake	私たちの肝の先が
コシトゥリリ kosituriri	それでのびのびとする。
イネアプクスン ineapkusun	なんとまあ
チェサンペシトゥリ ワ c=esanpe-situri wa	それで私たちの気持ちが晴れる
フマシ ヤ カ humas ya ka	感じがするか
チェラミシカリ c=eramiskari	わからないほどである。
インネアシ ペ inne=as pe	私たちは大勢いる
ネ プ ネ クス ne p ne kusu	ものだから
V タプ オロワノ V tap orowano	このようにして

ネア ポン ナイ
nea pon nay

あの小さい沢

チョヤイレス
c=oyayresu

で私たちは育っ

オカアサワ
oka=as awa

たが

インカラシケ
inkar=as h_ike

見てみると

ホシキ エク メノコ
hoski ek menoko

最初に来た女は

ネイ…… ネ…… ネン…… ネイ ワ モトコロ ペ どここの者か
ney... ne... nen... ney wa motokor pe

エク カトウフ
ek katuhu

来た時の様子が

ウエン カスノ
wen kasuno

とてもひどく

イルシカアシ クス
iruska=as kusu

私たちは腹を立てたので

トゥ モトオロケ
tu motoorke

素性を何度も

チシクシパレ
ci=sikkuspare

見通した

キ ロカワ
ki rok awa

すると

オロヤチキ
oroyaciki

思うに

サマユンクル^[1]
Samayunkur

サマユンクル

コッ トウレシ
kor_ turesi

の妹

ネ ロク アン。
ne rok an.

だったのだ。

オロワノ イルシカアシ コロ
orowano iruska=as kor

それから私たちは腹を立てながら

タポロワノ
tap orowano

それから

イヨシノ エク メノコ
iosno ek menoko

あとから来た女の

トゥ モトオロケ
tu motoorke

素性を何度も

チシックシパレ
ci=sikkuspare

見通した。

キ ロカワ
ki rok awa

すると

ケライ カムイ ネ
keray kamuy ne

さすがに神様らしく

V オキクルミ^[2]
V Okikurmi

オキクルミ

コッ トウレシ kor_ turesi	の妹
ネ ロコカ。 ne rokoka.	だったのだ。
カムイ ネ クス kamuy ne kusu	神なので
カムイ イタキ kamuy itaki	神の言葉が
ソネ クス sone kusu	本当になったので
V チク…… チカムイセイェ V ciku... ci=kamuyseye	私たちの神なる貝殻は
ソンノ ポカ sonno poka	本当に
イロンネ カ キ ironne ka ki	厚くなった。
V アナク キ コロカ V anak ki korka	けれども
ウエン カスノ wen kasuno	あまりにも
サマユンクル Samayunkur	サマユンクル
コッ トウレシ kor_ turesi	の妹が

チコイルシカ クス ci=koyruska kusu	憎らしいので
トイカラ キ コロ toykar ki kor	彼女が畑を作ると
コッ トイエヘ kor_ toyehe	その畑で
イペ サク クニ ネ ipe sak kuni ne	食べ物ができないように
V チカン ランケ V ci=kar_ ranke	何度もした。
オキクルミ Okikurmi	オキクルミ
コッ トウレシ kor_ turesi	の妹が
トイカラ キ コロ toykar ki kor	畑を作る時は
アマム ピリカピ amam pirkapi	穀物のよいもの
V ハル ピリカピ V haru pirkapi	食べ物のよいものが
エテコロカシ etekorkasi	手の上に
イヨマ クニ ioma kuni	入ってくるように

チェコブンキネ
c=ekopunkine

私たちは見守っている。

キ ロカワ
ki rok awa

すると

V オキクルミ
V Okikurmi

オキクルミ

コッ トウレシ
kor_ turesi

の妹が

アラキ ヒネ
arki hine

来て

エネ イタキ。
ene itak h_i.

こう言った。

「ナイ ピパ カムイ
“nay pipa kamuy

「沢の貝の神

テエタ アナク
teeta anak

昔は

ト ピパ セコロ
to pipa sekor

沼の沼貝と

アエチレコ ア コロカ
a=eci=reko a korka

あなたたちを呼んだけれど

タネ アナクネ
tane anakne

今は

ナイ ピパ セコロ
nay pipa sekor

沢の貝と

アエチレコ クス a=eci=reko kusu	あなたたちを呼ぶので
V ハルカラン マ V harukar=an w_a	食べ物を採って
ハルカラン ウサ harukar=an usa	食べ物を採っても、いろいろな
アマミ ピリカ ヒケ amami pirka hike	穀物もよいほうのものを
ポロンノ アコロ poronno a=kor	たくさん持つ
アナク キ コロカ anak ki korka	けれども
V アニ アチャ ペ V ani a=ca pe	刈る道具が
イサム マクス isam w_akusu	ないので
エチカムイセイエヘ eci=kamuyseyehe	あなたたちの神なる貝殻を
チコアフプカラ cikoahupkar	もらう
アキ クス a=ki kusu	ために
エカン ルウエ ネ ナ。」 ek=an ruwe ne na.”	私たちは来たのだよ。」

セコロ イタク コロ sekor itak kor	と、言いながら
V ウヌモマラパレ V un=umomarpare	私たちを集めて
V コロ ワ イワク V kor wa iwak	持って帰り
ウンセ ワ イワク un=se wa iwak	背負って帰り
ウンスウェ ヒネ un=suwe hine	私たちを煮て
チカムイセイェ ci=kamuyseye	私たちの神なる貝殻を
ルイケ ルイケ ruyke ruyke	研ぎ研ぎ
V オロワノ V orowano	それから
チカムイイペヘ カ ci=kamuyipehe ka	私たちの神なる身も
ケラアン カシパ keraan kaspā	おいしすぎる
ヤク イェ パ コロ エ ルウエ ネ。 yak ye pa kor e ruwe ne.	と言いながら食べた。
V オロワノ V orowano	それから

ノカン アマンプシ nokan amampus	小さい穀物の穂
ルプネ アマンプシ rupne amampus	大きい穀物の穂が
ピパ トウイカ タ pipa tuyka ta	沼貝の上に
ウウエスルルケ uwesururke	広がって
V チェヤイカムイ V c=eyaykamuy-	私たちは立派な神
ネレ カネ nere kane	になって
V オロワノ アイヌ オルン V orowano aynu or un	それから人間に
エイパカシヌ eypakasnu	それを教えた。
オキクルミ Okikurmi	オキクルミの
コツ トウレシ kor_ turesi	妹は
トイ カン ネ ヤッカ toy kar_ ne yakka	畑作りでも
イチャ ネ ヤッカ ica ne yakka	穂ちぎりでも

エイパカシヌ

eypakasnu

人に教えた。

「ナイ ピパ セコロ

“nay pipa sekor

「沢の貝と

アイェ プ オカ ナ。

a=ye p oka na.

言うものがあるよ。

アニ イチャ ヤン。

ani ica yan.

それでもって穂ちぎりしなさい。

カムイイペへ

kamuy-ipehe

神なる身を

エ カ キ ヤン。」

e ka ki yan.”

食べなさい。」

セコロ イタク コロ

sekor itak kor

と、言いながら

エイパカシヌ

eypakasnu

それを教えた

キ ペ ネ クス

ki pe ne kusu

ので、

アイヌ ネ ヤッカ

aynu ne yakka

人間であっても

カムイ ネ ヤッカ

kamuy ne yakka

神であっても

ウヌモマレ

un=umomare

私たちを拾い集め

チカムイイペ ci=kamuyipe	私たちの神なる身が
ケラアン カシパ keraan kaspā	おいしすぎる
キ マヌ ヒ ki manu hi	とかいうことを
イエ コロ エ パ アエヤイカムイ ye kor e pa a=eyaykamuy-	言いながら食べると私たちは立派な神
ネレ カネ nere kane	となって
アカムイセイエ a=kamuyseye	神なる貝殻を
コロ ワ パイエ kor wa paye	人間が持って行き
V アニ イチャ パ コロ V ani ica pa kor	それでもって穂ちぎりすると
アイヌ ネ ヤッカ aynu ne yakka	人間も
トイカラ クニ toykar kuni	そのように畑仕事をするように
エイパカシヌ パ eypakasnu pa	みんなに教え
エパカシヌ パ epakasnu pa	みんなに教えた

キ プ ネ クス ki p ne kusu	ので、
アイヌ ウタラ aynu utar	人間たち
ネ ワ ネ ヤッカ ne wa ne yakka	もまた
ハル ピリカピ haru pirkapi	食べ物のよいものを
カラ ルウエ ネ。 kar ruwe ne.	採った。
トイ ピリカピ toy pirkapi	よい畑を
カラ ルウエ ネ。 kar ruwe ne.	つくった。
V アエヤイカムイ V a=eyaykamuy-	私たちはそれで立派な神
ネレ カネ nere kane	になって
アカムイセイエヘ a=kamuyseyehe	神なる貝殻が
アイヌ テコロ カ aynu tekor ka	人間の手の上に
アウイルケ ワ a=uyruke wa	置かれて

カムイセイエへ kamuyseyehe	神なる貝殻
セイ クルカ タ sey kurka ta	貝の上に
ピパ トウイカ タ pipa tuyka ta	沼貝の上に
V ルプケ…… ルプネ アマムプシ V rupke... rupne amampus	大きな穀物の穂
ノカアム…… ノカン アマムプシ nokaam... nokan amampus	小さな穀物の穂が
ウウエスルルケ uwesururke	広がるのを
アンラマス anramasu	おもしろく思い
アウウエスイエ auwesuye	気に入って
V オトウ ケシ パ タ V otu kes pa ta	毎年、
オレ ケシ パ タ ore kes pa ta	毎年、
オカアン カトウ oka=an katu	いた様子を
アオモンモモ ナ。」 a=omommomo na.”	事細かに述べたよ。」

セコロ ナイ ピパ ウタラ ハウエオカ。
sekor nay pipa utar haweoka.

と、沢の貝たちが言った。

(萱野：はい、ピリカ)

(萱野：はい、いいね)

(萱野：はい、pirka)

テエタ カネ
teeta kane

むかしむかし

ト コロ ピパ
to kor pipa

沼の沼貝

セコロ アウンレコ
sekor a=un=reko

と、私たちが呼ばれて

オカアシ ウシケ
oka=as uske

いたところの

レコロ カトウ
rekor katu

その名前は

ピラカ トホ
Piraka toho

平賀の沼

セコロ アイエ コロ
sekor a=ye kor

という

ポロ ト ネ アン
poro to ne an

大きな沼であって

オロ チョヤイレス
oro c=oyayresu

そこに育つ

キ ア コロカ
ki a korka

たが

タネ アナクネ
tane anakne

今は

シラウ…… シラウ セコロ アイェ ナイ
Siraw... Siraw sekor a=ye nay

シラウという沢の

オロ チョヤイレス
oro c=oyayresu

ところで私たちは育って

キ ワ タプ ネ
ki wa tap ne

このように

ナイ コロ ピパ
nay kor pipa

沢の貝

セコロ アウンイエ
sekor a=un=ye

と、私たちは呼ばれ

アイヌ ネ チキ
aynu ne ciki

人間とか

カムイ ネ チキ
kamuy ne ciki

神とかの

カシ チオイキ
kasi ci=oyki

世話をする

セムコラチ
semkoraci

かのように

アウネイワンケ
a=un=eywanke

私たちは使われて

アイヌ ネ ヤッカ
aynu ne yakka

人間も

ミナ カネ
mina kane

笑って

チカムイイペヘ
ci=kamuyipehe

神なる身を

ウイナ ワ エ パ
uyna wa e pa

獲って食べ

ケラアン ヒ タブ
keraan hi tap

おいしいことを

アンレカカラ
an=rekakar

ほめる

キ ルウエ ネ クス
ki ruwe ne kusu

ので、

アイエ ハウエ ネ セコロ
a=ye hawe ne sekor

こういう話をしたのだよ。と

(ここから散文)

テエタ アナク
teeta anak

「昔は

ト ピパ チネ ア コロカ
to pipa ci=ne a korka

沼の沼貝であったが、

タネ アナク
tane anak

今は

ナイ ピパ チネ ワ
nay pipa ci=ne wa

沢の貝で

オキクルミ トウレシマチ
Okikurmi turesmaci

オキクルミの妹である妻が

エネ ウンイエ イネ ア クス
ene un=ye h_i ne a kusu

あのように私たちに言ったために

ナイ ピパ チネ ワ
nay pipa ci=ne wa

私たちは沢の貝となって

アウネイワンケ ヒ
a=un=eywanke hi

使われていることを

アイエ ハウエ ネ セコロ
a=ye hawe ne sekor

語ったのだ。」と、

ナイ ピパ カムイ ウタラ ハウオカ。
nay pipa kamuy utar hawoka.

沢の貝の神たちは言った。

【注】

- [1] カムイユカラの登場人物。必ずオキクルミと対になって登場し、たいてい悪い役まわりを受けもたされる。
- [2] カムイユカラの主人公。サマユンクルという相棒と連れ立って登場することが多い。